

「ヨコミネ式教育法」市唯一「たんぽぽ保育園」 「やる気スイッチが入り、何でも挑戦したい」

南魚沼市坂戸のたんぽぽ保育園(遠山園長)は約5年前から、子ども達の自主性から自立を促す教育を実施する「ヨコミネ式教育法」を取り入れた保育を行う

ている。子ども達が自ら考え判断し、行動する自立した教育を目指す。この教育法の実践は南魚沼市では同保育園が唯一である。

園児自ら「判断」「行動」する教育を



頭倒立は体操の授業にあつて数をかぞえながらバランスをとっていた



高い集中力が必要なそろばんも毎日の日課



来年は小学一年生になるぞう組5歳児さん達

園児108人の中で年長ぞう組の5歳児は18人。午前中にひらがな、カタカナの書き練習、次にそろばん、ピアノカ、合奏体操と、いきいきとした表情でこなしていく。そろばんは8級(小学2・3年生用)の問題を解く子もいる。ピアノ力で弾いているのは「高校三年生」や「勝手にしやがれ」TOKIOの「宙船」と子ども達が生まれていない時にヒットした歌謡曲などで意外な選曲ジャンルにとらわれず色々な曲を身近に感じてほしいとの先生達の思い

から練習をしている。子ども達は先生の指導で「楽しい」「挑戦したい」という気持ちで湧きだし、何にでも興味を持ち挑戦していくとする。子ども達は競い合いながらお互いを認め合っていく。自然と友達に優しい言葉をかけることができた相手を思いやる気持ちが生まれる。午後は午前と変わり、思いっきりの遊ぶ時間。メリハリある園での過ごし方で心身ともに健やかに子どもらしく、たくましく成長している園児の目は輝いている。

「たくさん挑戦させてあげましょう」と話してくれた。



みんなで声をかけあいリズムよく跳び箱5段を跳んでいく



合奏の時間はドラムや木琴、ピアノカなどを使って音感を育てていく



書き取りは数字やひらがな、カタカナを何度も練習していく